

建築版	10-1	外装	設備工事： 扉・ガラリ関連工事	電気	-	設備工事 ポイントシート (10-1)
				空調	○	
				衛生	-	
				その他	○	

空調設備の換気扇や外気取込み口、外部に取付く扉の通気口などに、雨水の浸入を防ぐために横格子のガラリ（ルーバー）を取付けます。しかし、それでも豪雨時や強風時には雨水の浸入や、羽根やガラリの振動音が発生することがあります。建築・設備の工事区分に関わらず、ガラリの羽根の幅や勾配、間隔などは事前に雨水の侵入が無いか確認して施工図・扉加工図に記入し、メーカーに手配しなければなりません。

ポイント

■外壁に設置するガラリ

- ・ガラリにチャンバなどを取付ける場合、浸入した雨水が自然に外部排出できるような勾配を付けます。
- ・ガラリにチャンバを取付ける場合、必要に応じて点検口を取付けます。
- ・ガラリのカタログから有効開口面風速及び有効開口率を確認する必要があります。
- ・給排気口の外部に雨水浸入を防止するカバー付きの既製金物を使うことがあります。

先輩アドバイス

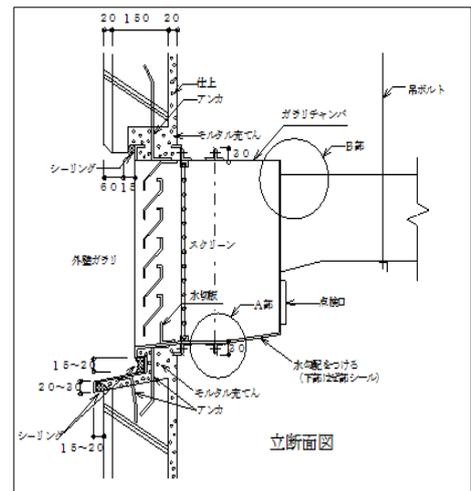
- ・建築工事のガラリとチャンバの取合いがポイントですので詳細な検討が必要です。
- ・シールや防水の必要性も要検討です。
- ・換気口の外フランジとガラリの取合いを確認します。
- ・雨の吹き込みだけでなく、強風時は内部が負圧になり、雨水の吸い込みが発生することもあります。万一、浸水した場合のために雨水の排水ルートを確認します。

チェック項目

- ガラリにチャンバなどを取付ける場合、浸入した雨水が自然に外部排出できるような勾配を付けていますか。
- チャンバの付くガラリは、点検口は必要ないですか。
- 複数の換気口がある場合、取り合いを調整しましたが。
- ガラリの有効開口は、強風時安全側ですか。
- 防虫網が必要ですが、目詰まりの原因となりますので清掃ができますか。

失敗すると...

- ・大型台風などの強風時は、気圧の変化のため雨水の吹き込むがあります。万一、ガラリなどから浸水しても不可抗力となる場合があると施設管理者に説明しておく必要があります。開口の位置や周辺建物、樹木などをチェックし、可動ガラリの閉鎖や内側からのシート養生を伝えましょう。



ガラリ廻り(例)



フード付きガラリ例)



施工状況写真

共通管理項目	合理化省力化	施工性向上	品質・性能向上	工期短縮・圧縮	コスト削減(材料)	コスト削減(労務)	設備先行工事	工事区分見直し	責任所在明確化
	-	-	○	-	-	-	-	-	-
備考	参考文献：						初版発行	2020年12月	
	参考メーカー：						改訂		